

平成28年度
中土佐町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会

目 次

1. 理事会の開催	1
2. 評議員会の開催	2
3. 監事による監査	3
4. 評議員理事合同協議会の開催	3
5. 定款改定検討委員会の開催	3
6. 評議員選任・解任委員会の開催	3
7. 職員研修	4
8. 防災計画	4
9. 地域福祉活動計画（平成24年3月策定）の実施	4
(1) 支え合うつながりづくり	4
10. 社会福祉協議会による地域福祉の推進	5
(1) ワンストップサービス体制づくり（相談事業の強化）	5
(2) 社会福祉協議会の基盤強化	5
(3) 地域が進める地域福祉活動（地域アクションプランの推進）	6
I. 大野見地域	6
II. 久礼地域	7
III. 上ノ加江地域・矢井賀地域	8
11. 生活困窮者自立相談支援事業（高知県受託事業）	9
12. 福祉教育・ボランティア活動	10
(1) 福祉教育・ボランティア活動、地域福祉の推進事業の実施	10
(2) ボランティアセンター機能の推進	10
(3) 災害ボランティアセンター運営体制の強化	10
13. 共同募金及び歳末たすけあい事業・24時間TV募金活動	10
(1) 赤い羽根共同募金配分金事業	10
(2) 共同募金配分事業	10
(3) 歳末たすけあい募金配分金事業	12
(4) 24時間TV募金活動	12
14. 生活福祉資金貸付事業・小口福祉資金貸付事業	12
(1) 生活福祉資金貸付事業	12
(2) 小口福祉資金貸付事業	12
15. 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）	12
16. 中土佐町受託等事業	13
(1) 寝具類洗濯乾燥、消毒サービス事業	13
(2) 上ノ加江老人憩いの家管理受託事業	13
(3) 日常生活援助サービス事業	13
(4) 要援護高齢者等入浴サービス受託事業	13
(5) 中土佐町敬老会開催事業（補助金事業）	13
(6) あったかふれあいセンター事業（＊再掲）	15
(7) 中土佐町認知症施策総合推進事業	15
(8) 地域における生活困窮者支援等のための共助の基盤づくり事業	15
(9) 中土佐町養育支援訪問事業	16
(10) 地域自殺対策強化事業（中土佐町つなぐつながる訪問事業）	16
17. 介護保険関連サービス事業	17
(1) 指定居宅介護支援事業所	17
(2) 指定訪問介護事業所	17
(3) 通所介護事業所	18
(4) 訪問入浴介護事業所	18
18. 障害者総合支援法関連事業	19
(1) 中土佐町地域活動支援センターつどい処（I型）	19
(2) 中土佐町相談支援事業所	20
(3) 指定就労継続支援B型事業所「鯉乃國の萬屋」	20

平成28年度 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会 事業報告

中土佐町における社会福祉事業その他社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び社会福祉に関する活動活性化により、地域福祉の推進を図る取り組みを継続して行った。

1. 理事会の開催

第1回理事会

開催年月日 平成28年5月26日（木曜日）

出席者数 8人（総数8名）

議案

議案第1号 平成27年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会法人会計補正予算（4次補正）について

議案第2号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会個人情報保護規程の一部を改正する規程について

議案第3号 平成27年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会事業報告並びに決算報告の認定について

第2回理事会

開催年月日 平成28年8月25日（木曜日）

出席者数 8人（総数8名）

議案

議案第4号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会通所介護事業所運営規程の一部を改正する規程について

第3回理事会

開催年月日 平成28年12月7日（水曜日）

出席者数 8人（総数8名）

議案

議案第5号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会定款の全部を改正する定款について

議案第6号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員選任及び解任に関する規程について

議案第7号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会選任・解任委員会運営細則について

議案第8号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会訪問介護事業所運営規程の一部を改正する規程について

議案第9号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

第4回理事会

開催年月日 平成29年2月24日（金曜日）

出席者数 8人（総数8名）

議案

議案第10号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会積立金管理規程について

議案第11号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会育児・介護休業等に関する規程の全部を改正する規程について

議案第12号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員及び役員等の報酬並びに費用に関する規程について

- 議案第13号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会会員規程の全部を改正する規程について
- 議案第14号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員選任候補者の推薦について

第5回理事会

開催年月日 平成29年3月24日（金曜日）

出席者数 8人（総数8名）

議案

- 議案第15号 平成28年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会法人会計補正予算（2次補正）について
- 議案第16号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会就業規程等の一部を改正する規程について
- 議案第17号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会会長の専決処分事項の指定に関する規程等の一部を改正する規程について
- 議案第18号 平成29年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会事業計画（案）について
- 議案第19号 平成29年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会法人会計予算（案）について

2. 評議員会の開催

第1回評議員会

開催年月日 平成28年5月26日（木曜日）

出席者数 15人（総数17名）

議案

- 議案第1号 平成27年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会法人会計補正予算（4次補正）について
- 議案第2号 平成27年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会事業報告並びに決算報告の承認について

第2回評議員会

開催年月日 平成28年12月7日（水曜日）

出席者数 15人（総数17名）

議案

- 議案第3号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会定款の全部を改正する定款について
- 議案第4号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員選任及び解任に関する規程について
- 議案第5号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会選任・解任委員会運営細則について
- 議案第6号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について

第3回評議員会

開催年月日 平成29年3月24日（金曜日）

出席者数 13人（総数17名）

議案

- 議案第7号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会積立金管理規程について

- 議案第8号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会会員規程の全部を改正する規程について
- 議案第9号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員及び役員等の報酬並びに費用に関する規程について
- 議案第10号 平成28年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会法人会計補正予算（2次補正）について
- 議案第11号 平成29年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会事業計画（案）について
- 議案第12号 平成29年度社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会法人会計予算（案）について

3. 監事による監査

- (1) 平成27年度における理事の業務執行の状況及び財産の状況について平成28年5月12日に監査を実施し、理事会及び評議員会に報告した。

4. 評議員理事合同協議会の開催

第1回評議員理事合同協議会

開催年月日 平成28年8月25日（木曜日）

出席者数 23人（総数27名）

議案

第1号議案 社会福祉法人制度改革について

第2号議案 中土佐町通所介護事業所の土曜日開所について

5. 定款改定検討委員会の開催

第1回定款改定検討委員会

開催年月日 平成28年11月14日（月曜日）

出席者数 5人（総数8名）

議案

議案

(1) 定款改正について

①評議員について

②理事・監事について

③評議員選任・解任委員会について

(2) 今後のスケジュールについて

①定款変更認可申請の時期について

②理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催時期について

6. 評議員選任・解任委員会の開催

第1回評議員選任・解任委員会

開催年月日 平成29年3月6日（月曜日）

出席者数 4人（総数4名）

議案

議案第1号 社会福祉法人中土佐町社会福祉協議会評議員の選任について

7. 職員研修

各事業所においてそれぞれの業務に関連した研修会、研究会等に参加することによって、個々の職員の資質向上を図った。

また、地域福祉に関する研修には積極的に参加させることによって、職員の自己研鑽を含めた地域福祉の活動に活かせる取り組みにつなげることができた。

資格取得：介護支援専門員・1名

8. 防災計画

平成29年2月6日（月）に本所において職員等が、高幡消防組合中土佐分署立会のもと消防訓練（火災避難訓練）を実施して、消火器の使用方法などの指導を受け初期消火の体験を行った。

消防訓練は各事業所で計画し実施しており、今後も継続的に実施して、職員の防災に対する意識の向上を図って行く。

本所参加者・26名（内7名は「つどい処」利用者）

9. 地域福祉活動計画（平成24年3月策定）の実施

自助・共助・公助が必要に応じて効果的に機能することを目指し、地域福祉の連携体制づくり、地域での見守り、支え合い活動の体制づくり、住民のふれあい、生きがいづくりを進めるとともに「福祉のまちづくり」を推進する取り組みを行った。

基本理念……………「自立・協働・連携」

めざすまちの姿……「安心して 誰もが 自分らしく暮らすことのできるまち」

（1）支え合うつながりづくり

I. 地域ネットワークの構築

中土佐型地域包括支援ネットワークシステムの検討

地域福祉計画・地域福祉活動計画の実践に伴い、各地域のあったかふれあいセンターを中心に実施している小地域ケア会議・つながる安心カード・見守りマップづくりなどを通じて、住民とともに見守り活動を実施した。

II. 地域福祉研修会の開催

中土佐町における「安心して暮らすことのできる地域づくり」の地域福祉活動をさらに活性化するため、地域の特性を踏まえた地域福祉の大切さを学ぶため研修会を地域と協議しながら開催した。また、「権利擁護」を分かりやすく伝えるためあったかふれあいセンター3カ所が協力して、準備から当日運営までを子ども・障害者・高齢者等様々な住民と中土佐町社協・行政が役割分担し、寸劇と地域ごとに考えた権利擁護に関するゲームを取り入れた権利擁護研修会を開催した。

* 権利擁護研修会参加者数

項 目	上ノ加江・矢井賀	大野見	久礼
スタッフ住民	16名（13名）	10名（19名）	21名（18名）
当日参加者総数	130名（54名）	74名（97名）	103名（122名）
65歳未満の参加	51名（13名）	11名（15名）	67名（35名）

*（ ）前年度実績

Ⅲ. 地域福祉の拠点（あったかふれあいセンター）の活用

『ほのぼの大野見』、『まんまる』及び『寄り家』のあったかふれあいセンター事業を中土佐町から受託して、住民のお困りごとや意見をもとに相談機能、生活支援機能を発揮して、地域福祉の拠点として位置付けた取り組みを行った。

① 事業目的

住み慣れた地域で住民誰もがいきいきと安心して暮らし、ともに支え合える仕組みをつくる。

※必須機能 …… つどう・訪問・相談・つなぎ・生活支援

※付加機能 …… 送迎・預かる・交わる・学ぶ

② 事業内容

利用者を限定せずに、誰もが気軽に利用できる地域福祉の拠点を目指して、「大野見地域」、「久礼地域」及び「上ノ加江・矢井賀地域」の実情や地域性に合わせた機能の充実を図り、福祉サービスや制度の隙間となる部分への支援を関係機関等と連携を図り柔軟に行うとともに、地域特性を踏まえた取り組みを行った。

（ア）事業所概要

・開所日時 月曜日～金曜日 9:00～16:00

・職員体制 3名（地域福祉コーディネーター1名、スタッフ2名）

（イ）利用者分類別年間延べ利用状況

（単位：人）

分 類 別	高齢者	障害者	子ども	その他	合 計
ほのぼの大野見	6,350 (7,764)	91 (56)	107 (423)	1,675 (1,736)	8,223 (9,979)
まんまる	3,625 (3,277)	661 (582)	491 (504)	900 (1,170)	5,677 (5,533)
寄り家	3,593 (4,907)	232 (253)	361 (407)	403 (625)	4,589 (6,192)
合 計	13,568 (15,948)	984 (891)	959 (1,334)	2,978 (3,531)	18,489 (21,704)

*（ ）内は前年度実績

10. 社会福祉協議会による地域福祉の推進

（1）ワンストップサービス体制づくり（相談事業の強化）

住民の各種の相談には「心配ごと相談事業」で対応しているが、福祉や保健について住民の相談ごとを総合的に受け付け対応でき、必要な機関等へつなぐ機能の整備を図りワンストップサービスとなる総合相談窓口の体制づくりのために、また、生活困窮者自立相談支援に対応するために生活相談支援員2名（兼務）を配置して相談事業の強化に努めた。

（2）社会福祉協議会の基盤強化

地域福祉活動を推進するうえで、本会の基盤強化が重要課題になってきており、アクションプランの実践から見えてくる課題等の検証を行った。

また、第1期中土佐町地域福祉活動計画が本年度で終了となることから、中土佐町第2期地域福祉計画を中土佐町と連携して策定し、地域福祉の推進を図る団体として、中土佐町社協の理念や目標を明確にし、組織、財務等に関する具体的な

取り組みを明確にする基盤強化の取り組みを継続して行う。

(活動体制の強化)

事業企画、実施に伴う事務局の体制強化、職員の資質向上に努め、住民に信頼を得る活動を展開する。

- ① 役職員の研修の実施
- ② 基盤強化計画の策定
- ③ 成年後見制度の法人後見受任事業の実施
- ④ 各関係機関との連携
- ⑤ 人事管理体制の確立

(3) 地域が進める地域福祉活動 …… 地域アクションプランの推進

『あったかふれあいセンター』(中土佐町受託事業)

- ①事業目的：住み慣れた地域で住民誰もがいきいきと安心して暮らし、ともに支え合える仕組みを作る。
- ②事業内容：利用者を限定せずに、誰もが気軽に利用できる地域福祉の拠点を目指す。

I. 大野見地域

1. 大野見地域の課題

- ①少子高齢化が進む地域で、誰もが安心して暮らし続けて行くためには住民同士の支え合いやつながりを再構築し、仕組みづくりを考える住民参画の場が必要である。
- ②若い世代や稼働世代の地域活動への参加や協力を得ながら、一緒に地域福祉の推進を図る必要がある。
- ③地域の課題やニーズに対し、地域住民、専門機関、行政等が連携しながら対応するケースも増えてきており、早期の発見と対応が必要となっている。

2. 今年度の目標

- ①地域のニーズ把握や個別支援のための訪問を積極的に行う。
- ②地域住民が、つながる安心カード作成や地域の課題解決に向けた取り組みや話し合いの場に参画する。

3. 今年度の成果

あったかふれあいセンター「ほのぼの大野見」の活動や地域福祉の取り組みに携わってもらえる地域住民が増え、さらに、今年度立ち上がった集落活動支援センター「みなみ」や集落活動支援センターの準備を進める北地区振興会等の自治組織と協議・連携を図り地域の声がより反映された取り組みや研修会等に発展させることができた。

また、サテライト等からの波及効果から地域主体の新たなコミュニティの場も誕生し、「つながる安心カード」の更新作業が計画的に進められ、目標の40%を達成することができた。

これは、緊急時に備えた「命を守るカード」として職員だけでなく民生委員児童委員や地域ふくし活動推進委員から地域住民に向けて、周知や紹介ができたことが大きかったと感じる。

4. 今後の課題

人口減少や高齢化が進む地域において、誰とも係わりのない独居高齢者や高齢者世帯がないよう住民同士が地域での見守りや支え合い、課題解決に

向けて検討する場が必要であり、さらには、地域の将来を考え、これから地域を支える稼働世代の地域福祉への関心や参画を促す必要があるので、地域福祉研修会や小地域ケア会議に新たな参加者を増やすべく企画内容や仕掛け方などを地域ふくし活動推進委員とともに、地域の担い手育成にどう取り組んで行くか検討して行く。

また、本年度十分に組みこめなかった【訪問】【相談】などのあったかふれあいセンター機能の充実を図り、地域課題やニーズの早期発見に努め、地域や個々に合わせた支援や解決につながる仕組みづくりに地域住民と一緒に取り組んで行く必要がある。

Ⅱ. 久礼地域

1. 久礼地域の課題

- ①地域が広く、全体に見守り支え合いを進めて行くことが困難なため、地域福祉づくりを進めて行くメンバーを増やし、地域分けなど久礼地域にあった取り組みを検討する必要がある。
- ②孤独死や虐待等重症化に至る抽出しきれていない課題があるため、住民同士のつながりを強め、問題の早期発見、早期対応ができるネットワークづくりが求められている。
- ③地域福祉づくりに係わる住民や民生委員児童委員、行政、中土佐町社協・あったかふれあいセンター「まんまる」等が連携を図り推進体制を整え、つながり（見守り・支え合い）の仕組みを作る必要がある。

2. 今年度の目標

パートナーシップで進める地域（住民）のつながり強化

- ①地域ふくし活動推進委員、民生委員児童委員、地域のお世話焼きが、地域のつながりネットワークづくりへ参画する。
- ②住民とともに地域福祉について考え、あったかふれあいセンター「まんまる」が地域の状況を把握して適切な支援活動をすることができる。

3. 今年度の成果

- ・あったかふれあいセンターの【集いの場】の利用者間でお互いに自然と声かけあい、「手伝って。」と頼る姿が見受けられ利用者同士での生活支援ができ始めた。
- ・地域のニーズからふれあい作品展の開催、「まんまる」利用者や近隣住民、近隣施設の保育所と合同の地震・津波避難訓練等、高齢や障害の有無に係わらず住民が参加・交流できる機会が増えた。
- ・民生委員児童委員や住民からの情報提供や相談が増え、地域包括支援センターと情報を共有し、支援に取り組むことができたことで、住民と職員との関係性も新たにでき、「まんまる」へつながった方が増えた。
- ・地域ふくし活動推進委員を中心に、「防災・支え合いマップ」づくりを取り入れモデル地区で進めたことや第2期地域福祉計画の策定、「まんまる」の地震・津波避難訓練、地域福祉研修会等、地域を巻き込んだ活動を展開したことで、地域福祉の協力者を探すことができ、住民と職員のパートナーシップで進めることができた。

4. 今後の課題

- ・久礼地域の状況を把握するため、防災を切口に「防災・支え合いマップ」を地域ふくし活動推進委員や近隣住民、自主防災組織と連携して作成し、支援が必要な住民や担い手の把握を進め、災害時に支援が必要な住民が地

区で孤立しないよう、地区で地震・津波避難訓練や防災活動等を実施して、住民同士が日頃から顔を会わす機会をつくり、日常的な支え合いの仕組みづくりに取り組んで行く必要がある。

- ・困りごとを抱えた住民からの相談は少ないため、職員等のスキル（聞き取り力）アップやアセスメント力の向上を図り、訪問時や対話時の支援課題の発見に努めるとともに、関係機関との連携を図り支援方策等を検討する場を適時に設け、それぞれの役割分担を明確化し、より実効性のある支援活動をして行く必要がある。

Ⅲ. 上ノ加江地域・矢井賀地域

1. 上ノ加江地域・矢井賀地域の課題

担い手は、高齢化や多数の役割を担っている現状があるなか、次世代の福祉に対する関心は未だ低く、次の担い手も不足しているため、今後見守りの幅や助け合い活動が不十分になることが懸念される。

高齢者世帯、高齢独居世帯が多く、服薬・体調確認、見守り訪問等は必要であるが、制度の狭間で満たされていない住民等もあり、個別支援が必要なケースは今後増えて行くことが予想される。そして、近所同士の声かけがあるものの、困りごとを抱えた人や相談を受けた住民も相談先（人・機関）をまだ上手に活用ができていない。

要介護者にならないため、日頃から介護の予防や意識を持つことが必要であるが、【集う】ことへの抵抗感やしんどさ等から必要性を感じていない住民が多く、生きがいつくりや介護予防等へつながっていない現状がある。

2. 今年度の目標

住民の困りごと解決に向けた支援が、住民とともに取り組むことができる。

3. 今年度の成果

- ・定期的な小地域ケア会議を重ねていき、参加する住民やスタッフの関係構築と、あったかふれあいセンター「寄り家」や専門職の係わりの有無等を住民が知ることができたことで、会議が情報共有の場だけでなく住民の役割が見える個別検討へと変化しつつある。【集いの場】への誘い出しを、会議に参加する住民だけではなく、個々に応じた住民と役割分担を行い実行することができた。
- ・中土佐町、地域包括支援センター、中土佐町社協、「寄り家」で月1回開催する定例会では、関係機関の役割が明確化された個別のケース管理を行うことで、住民の役割や「寄り家」の訪問頻度も整理でき、小地域ケア会議での個別検討に活かされ、ケースに係わるケアマネージャーから住民の見守りや訪問依頼が「寄り家」に入ってくるようになった。
- ・小地域ケア会議を起点に各地区の実情に応じて、百歳体操が立ち上がり、見守り訪問組織「おとなりふれあい会」が子どもたちへの福祉教育を担うなど、サテライトがより住民主体の【集いの場】にといった、地域福祉の取り組み発展へとつながった。
- ・地域ふくし活動推進委員会で、5地区（2地域全体）の進捗管理が行えるよう、これまでのあったかふれあいセンター事業の進捗管理や地域ふくしバザー及び権利擁護研修会等の取り組みに加え、①会則や地域ふくし活動推進委員の見直し、②地域活動費の分配検討、③中土佐町第2期地域福祉計画の地域アクションプランの策定作業を行った。これらにより活動費も必要に応じて5地区（2地域）で活用できるようになったこと、地区の意見が反映された地域福祉計画の地域アクションプランができたことで、より住民の主体性

が展開できる地域福祉活動に近づいた。

4 今後の課題

住民同士の見守りや個々の課題解決に向けた仕組みづくりができつつあるが、次世代の地域福祉に対する関心の低さと多忙による係わりづらさから新たな担い手が、未だ十分に育っていない。

そして、地域アクションプランに係わる住民は役職を何役も担っており、また、地域の組織自体も高齢化に伴い人材不足や活発な活動ができない現状もある。

今後も高齢者支援や複合的な生活課題を抱えた住民等への支援が増えることが予想され、それを支える担い手の人材不足も懸念されているので、これまで取り組んできたものを維持していきながら、要介護者等にならないための自助努力や若い世代への働きかけを行うことが必要である。

1 1. 生活困窮者自立相談支援事業（高知県受託事業）

須崎福祉保健所より受託して、生活保護に至る前の段階の自立支援強化を図るため、複合的な要因などによって既存の制度のみや自立相談支援機関等では十分に対応できない生活困窮者の自立に向けた相談支援の取り組みを行った。

1. 主任相談支援員・職員 1 名（兼務）
2. 相談支援員……職員 1 名（兼務）
3. 相談件数 …… 67 件

相談件数月別状況

（単位：件）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	6	7	7	5	5	5	8	3	6	7	4	67
(7)	(9)	(6)	(7)	(10)	(5)	(3)	(5)	(5)	(2)	(11)	(4)	(74)

* () 内は前年度実績

4. 主たる相談内容

（単位：件）

内 容	件 数	内 容	件 数
①収入・生活費のこと	8 (5)	⑧仕事上の不安やトラブル	1 (0)
②病気や健康、障害のこと	14 (26)	⑨地域との関係・社会参加	3 (6)
③住まいについて	0 (2)	⑩家族関係・人間関係	2 (2)
④家賃やローン・支払のこと	1 (0)	⑪子育て・介護のこと	12 (13)
⑤税金・公共料金等支払	3 (1)	⑫引きこもり・不登校	3 (4)
⑥債務について	1 (0)	⑬DV・虐待	0 (0)
⑦仕事探し、就職について	2 (2)	⑭その他	17 (13)

* () 内は前年度実績

5. 相談結果

（単位：件）

内 容	件 数
①本人への情報提供だけで解決	0 (0)
②既存の制度や相談機関へつなぐことで解決	60 (71)
③プラン作成	5 (1)
④相談継続中（前年度からの継続ケースを含む）	2 (3)
⑤生活保護制度につないで解決	0 (0)

* () 内は前年度実績